

国鉄「分割・民営化」反対 / 三里塚二期工事阻止！

# 賃上げは三年間がまんする！！

## 「ただ偽きするのが新しい労使関係の基準」(?!)

一月八日、松崎は「大東亜共栄圏」をさげび、それを支える鉄道労連は「只働き」「賃上げ三年間がまん」「夏季手当だつて」などと財界、日経連が大喜びするゴマをすりまくった。かつて「欲しがりません勝つまでは」と戦争にかりだされたのは遠い昔ではない。現代の産業報国会、鉄道労連をたたくつぶせ。

新しい労使の基準は  
「会社のために只働き」



松崎は言う「ヨーロッパ労働運動の基本構造は只働きしない。日本は只働きする」これが「新しい労使関係の基準だ」「会社の発展が社員の幸せ」「不法なやり方があつてもいい」と。

まさに、オーバーワーク・ノーベイ運動の地獄であり、労働者の権利と生活の完全な売りわたしにほかならない。どれいの労働基本協約、就業規則そのものではないか。

只働きしなければ、やっつけていけない会社とは一体なんなのか。分割・民営化の失敗と破産した姿がここにある。さらに松崎は「三年間がまんしよう。三年先に株を上場する。賃上げ要求しなくてもいい。三年先に上げればいい」と放言している始末だ。

「九〇年は大量失業がくる」と吹いている張本人が、三年先のバラ色をえがく、なんたるデタラメだ。三年先に、いかなる保障があるというのか、そんなものはないのだ。

まじめに考えれば、三年間賃上げをがまんしても国鉄「赤字」がなくなるわけでもないし、会社が「黒字」になつてくれるわけでもない、とりまく内外情勢は、そんなに甘くはないのだ。

動労千葉、国労の  
首切りさげぶ松崎を許すな



松崎のねらいは「賃上げを要求する動労千葉や国労」を、やっつける、ということなのだ。「株の上場を考えた時、経費の面で大胆に切る。」

鉄道労連は、産業報国会

そのものだ

大政翼賛会のホース「さあ僅力がう」

東京地方産業報国会のホース「ぼしかりません勝つまではカウボーイがんだ」

大日本産業報国会創立大会、労働新体制、かてきあがけ

不必要なものを排除するのが資本の論理です。分割・民営化反対と言っている人間は、時給のパーセントになどと松崎はさげんんでいる。

鉄道労連は、分割・民営化の先兵だから「賃上げ要求しない」、これが愛社精神だ。

只働き、不法なやり方、賃上げがまん、これに反対する者は「反会社人間だ、排除しろ」これが松崎のやり方なのだ。鉄労や全労連もビックリ驚天、つきあいきれないのも無理はない。

要するに松崎は、あせっているのだ。動労千葉、国労をつぶせない。それどころか鉄道労連の内部から「松崎追放」の声が聞えてくる今日このごろ松崎は「資本」にすがりつくしかないので。

八八春闘勝利  
「六三・三ダイ改」粉碎



八八春闘をめぐって、日経連は早々と「賃上げゼロ」方針をうちだしている。労働側は、国労十％、私鉄九％、N T T 九％、自動車労連六％とそれぞれ要求している。

ところが、鉄道労連は「要求ゼロ」だというのである。そればかりか「四・一」一周年を「六三・三ダイ改」の反動キャンペーンでぬりつぶし、ドサクサにまぎれて大量首切り、大量出向、労働強化を推進しようとしてくらんでいるのだ。

黒字大国の日帝・独占資本、だが労働者の賃上げも認めない。これが革マル松崎のあがめる「資本の論理」というわけである。

八八春闘勝利、大巾賃上げかくとく。「四・一」体制「粉碎」、三里塚五割動員を実現しよう。

# 革マル松崎 鉄道労連



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！